

セミナー申込 FAQ

1. 4 月のウェビナーの案内を戴きましたが参加するには何をどうすれば良いのでしょうか？
 - ＞ fromHC から参加申し込み手続きを実施ください。オンライン参加の場合は開催日一週間前に、参加に必要な情報(ZOOM URL など)をメールにて送付いたします。※fromHC リニューアル(4/7 予定)後は、当日参加に必要な情報は自動返信メールでも届くようになります。
2. 開催予定のセミナーについて当日都合がつかないため、申し込んでおりませんが、後日配信を希望します。手続きを教えてください。
 - ＞ 視聴には動画視聴用 ID の発行が必要となります。fromHC リニューアル(4/7 予定)後に登録フォームが公開されますので、そちらからお手続きください。講演動画は、開催 3 日後 17 時までに fromHC へ掲載予定です。
3. 後日動画を視聴する場合も都度 ID の発行が必要ですか。
 - ＞ 一度 ID を発行いただければ、同じ ID ですべての動画をご視聴可能です。
4. 1 つの機関から複数名申込したいです。
 - ＞ 申込フォームに同伴者人数を選択する枠がございますので、そちらから人数を選ぶと入力フォームが出てきます。そちらに参加予定の方の情報を入力ください。当日ご参加の際は、ZOOM を開くとお名前を入力する枠が出ますので、漢字氏名をご入力の上、ご入室ください。

fromHC からの申し込み方法(4/7 公開予定のリニューアル後)
開催前



無料相談・講演依頼受付中！
貴族経済総合研究所

企業家検索

ホーム・ニュース登録

企業家紹介はこちらを見る

ライブセミナー

ブログに書く！

執筆依頼

内閣議

会社情報

「貴族経済」の最新情報

4/13(火)
18:00～19:00

企業統治

ウェビナー

当日資料 (PDF)

ご参加／ご観覧にあたって

セミナーのご参加、ご観覧にあたっては以下3つの方法がございます。

いずれの方法でも、費用は無料でございます。

【当日参加】

①オンラインでの参加

ウェビナーツールを使用して、リアルタイムでご観覧いただけます。各テーマの講演終了後には質疑応答の時間を設けますので、会場への参加が難しい方はぜひこちらからご参加下さい。

②会場の参加

2024年4月、豊洲スペースを会場とし、大型スタジオルームを新設いたしました。スタジオルーム内には代表者向の専用コンタクトを展示いたします。会場には経費帳も提供しておりますので、お申込みのことがございましたらお気軽にご観覧いただけます。

【後日、録画した動画を観覧】

講演後、録画動画を視聴いたします。ご観覧にあたっては2点が必要となります。当日ご参加できない方も、下記ボタンより、動画視聴をお受けいただけます。一層観覧いただけます。fromHCに搭載しているすべての動画がご観覧可能となりますので、録画動画のご観覧にあたっては、以降のお申込みは不要です。

参加申込／動画視聴の発行

テーマをよりご理解いただくために

●本テーマに関連するフォーラム

第6年度富国運動フォーラム

事業価値を最大化する富国運動の創生と共創

このフォーラムでは、産業界において銀行が圧倒的に大きな地位を占める日本の現状のなかで、融資の限界を超えた事業ととりあて、新事業機と資本市場機とを同時に、また産業と金融との間に健全な協働と連携の可能性を創出、成長戦略実現へ向け多面的な問題意識と具体的な提言を行いました。

●本テーマに関連した「企業統治はこう見る」

「企業は誰のものか」(2023.5.28掲載)

企業は誰のものか。これは、企業統治論の核心の問いですが、株主のものでしょうか。それとも、金主（ステークホルダー）のものでしょうか。株主のものかという問いと、金主（ステークホルダー）のものかという問い。そのことを別のいっしょで表現すれば、資本利権の最大化が企業の目的か、資本利権の社会利益正化を目指すのが企業の目的か。この二つの問いに企業統治論が回答する、という論考です。

「資金調達と資金配分の重要性を再考する」(2023.10.15掲載)

企業は成長戦略の遂行に資金調達が必要となりますが、戦略期間の保証を確保するためには、より確実に、より速く、より有利に条件付調達し、なければならぬのです。それが可能となるように経営状況を整備し得ようとするのが、この必要の努力が経営の要を要するものですが、これに際しては、金融の果たすべき役割は何かを論じています。

「企業の資金調達の目的と企業統治論」(2023.5.9掲載)

企業が保有する資産を統括上必要なものに整備に際して、かつ、その資産を保有するための資金の調達活動（資本調達）を促進すれば、適正な企業統治が成り立つのではない。資金調達の問題を連て、企業統治論へつなげています。

●本テーマに関連した「読んでほしい本」

「コーポレートガバナンスと企業・産業の持続的成長」

コーポレートガバナンスに関する学術的知見を踏まえ、経営者の視点からコーポレートガバナンスが企業の成長・価値向上へのどのように関係するものか。また、コーポレートガバナンスが経営者の行動にどのように影響を与えているのかを、コーポレートガバナンスを軸として展開されている。

企業家紹介はこちらを見る

ライブセミナー

ブログに書く！

執筆依頼

内閣議

会社情報

「貴族経済」の最新情報

4/13(火)
18:00～19:00

企業統治

ウェビナー

当日資料 (PDF)

ご参加／ご観覧にあたって

セミナーのご参加、ご観覧にあたっては以下3つの方法がございます。

いずれの方法でも、費用は無料でございます。

【当日参加】

①オンラインでの参加

ウェビナーツールを使用して、リアルタイムでご観覧いただけます。各テーマの講演終了後には質疑応答の時間を設けますので、会場への参加が難しい方はぜひこちらからご参加下さい。

②会場の参加

2024年4月、豊洲スペースを会場とし、大型スタジオルームを新設いたしました。スタジオルーム内には代表者向の専用コンタクトを展示いたします。会場には経費帳も提供しておりますので、お申込みのことがございましたらお気軽にご観覧いただけます。

【後日、録画した動画を観覧】

講演後、録画動画を視聴いたします。ご観覧にあたっては2点が必要となります。当日ご参加できない方も、下記ボタンより、動画視聴をお受けいただけます。一層観覧いただけます。fromHCに搭載しているすべての動画がご観覧可能となりますので、録画動画のご観覧にあたっては、以降のお申込みは不要です。

参加申込／動画視聴の発行

テーマをよりご理解いただくために

●本テーマに関連するフォーラム

第6年度富国運動フォーラム

事業価値を最大化する富国運動の創生と共創

このフォーラムでは、産業界において銀行が圧倒的に大きな地位を占める日本の現状のなかで、融資の限界を超えた事業ととりあて、新事業機と資本市場機とを同時に、また産業と金融との間に健全な協働と連携の可能性を創出、成長戦略実現へ向け多面的な問題意識と具体的な提言を行いました。

●本テーマに関連した「企業統治はこう見る」

「企業は誰のものか」(2023.5.28掲載)

企業は誰のものか。これは、企業統治論の核心の問いですが、株主のものでしょうか。それとも、金主（ステークホルダー）のものでしょうか。株主のものかという問いと、金主（ステークホルダー）のものかという問い。そのことを別のいっしょで表現すれば、資本利権の最大化が企業の目的か、資本利権の社会利益正化を目指すのが企業の目的か。この二つの問いに企業統治論が回答する、という論考です。

「資金調達と資金配分の重要性を再考する」(2023.10.15掲載)

企業は成長戦略の遂行に資金調達が必要となりますが、戦略期間の保証を確保するためには、より確実に、より速く、より有利に条件付調達し、なければならぬのです。それが可能となるように経営状況を整備し得ようとするのが、この必要の努力が経営の要を要するものですが、これに際しては、金融の果たすべき役割は何かを論じています。

「企業の資金調達の目的と企業統治論」(2023.5.9掲載)

企業が保有する資産を統括上必要なものに整備に際して、かつ、その資産を保有するための資金の調達活動（資本調達）を促進すれば、適正な企業統治が成り立つのではない。資金調達の問題を連て、企業統治論へつなげています。

●本テーマに関連した「読んでほしい本」

「コーポレートガバナンスと企業・産業の持続的成長」

コーポレートガバナンスに関する学術的知見を踏まえ、経営者の視点からコーポレートガバナンスが企業の成長・価値向上へのどのように関係するものか。また、コーポレートガバナンスが経営者の行動にどのように影響を与えているのかを、コーポレートガバナンスを軸として展開されている。

企業家紹介はこちらを見る

ライブセミナー

ブログに書く！

執筆依頼

内閣議

会社情報

「貴族経済」の最新情報

4/13(火)
18:00～19:00

企業統治

ウェビナー

当日資料 (PDF)

ご参加／ご観覧にあたって

セミナーのご参加、ご観覧にあたっては以下3つの方法がございます。

いずれの方法でも、費用は無料でございます。

【当日参加】

①オンラインでの参加

ウェビナーツールを使用して、リアルタイムでご観覧いただけます。各テーマの講演終了後には質疑応答の時間を設けますので、会場への参加が難しい方はぜひこちらからご参加下さい。

②会場の参加

2024年4月、豊洲スペースを会場とし、大型スタジオルームを新設いたしました。スタジオルーム内には代表者向の専用コンタクトを展示いたします。会場には経費帳も提供しておりますので、お申込みのことがございましたらお気軽にご観覧いただけます。

【後日、録画した動画を観覧】

講演後、録画動画を視聴いたします。ご観覧にあたっては2点が必要となります。当日ご参加できない方も、下記ボタンより、動画視聴をお受けいただけます。一層観覧いただけます。fromHCに搭載しているすべての動画がご観覧可能となりますので、録画動画のご観覧にあたっては、以降のお申込みは不要です。

参加申込／動画視聴の発行

テーマをよりご理解いただくために

●本テーマに関連するフォーラム

第6年度富国運動フォーラム

事業価値を最大化する富国運動の創生と共創

このフォーラムでは、産業界において銀行が圧倒的に大きな地位を占める日本の現状のなかで、融資の限界を超えた事業ととりあて、新事業機と資本市場機とを同時に、また産業と金融との間に健全な協働と連携の可能性を創出、成長戦略実現へ向け多面的な問題意識と具体的な提言を行いました。

●本テーマに関連した「企業統治はこう見る」

「企業は誰のものか」(2023.5.28掲載)

企業は誰のものか。これは、企業統治論の核心の問いですが、株主のものでしょうか。それとも、金主（ステークホルダー）のものでしょうか。株主のものかという問いと、金主（ステークホルダー）のものかという問い。そのことを別のいっしょで表現すれば、資本利権の最大化が企業の目的か、資本利権の社会利益正化を目指すのが企業の目的か。この二つの問いに企業統治論が回答する、という論考です。

「資金調達と資金配分の重要性を再考する」(2023.10.15掲載)

企業は成長戦略の遂行に資金調達が必要となりますが、戦略期間の保証を確保するためには、より確実に、より速く、より有利に条件付調達し、なければならぬのです。それが可能となるように経営状況を整備し得ようとするのが、この必要の努力が経営の要を要するものですが、これに際しては、金融の果たすべき役割は何かを論じています。

「企業の資金調達の目的と企業統治論」(2023.5.9掲載)

企業が保有する資産を統括上必要なものに整備に際して、かつ、その資産を保有するための資金の調達活動（資本調達）を促進すれば、適正な企業統治が成り立つのではない。資金調達の問題を連て、企業統治論へつなげています。

●本テーマに関連した「読んでほしい本」

「コーポレートガバナンスと企業・産業の持続的成長」

コーポレートガバナンスに関する学術的知見を踏まえ、経営者の視点からコーポレートガバナンスが企業の成長・価値向上へのどのように関係するものか。また、コーポレートガバナンスが経営者の行動にどのように影響を与えているのかを、コーポレートガバナンスを軸として展開されている。

企業家紹介はこちらを見る

ライブセミナー

ブログに書く！

執筆依頼

内閣議

会社情報

「貴族経済」の最新情報

4/13(火)
18:00～19:00

企業統治

ウェビナー

当日資料 (PDF)

ご参加／ご観覧にあたって

セミナーのご参加、ご観覧にあたっては以下3つの方法がございます。

いずれの方法でも、費用は無料でございます。

【当日参加】

①オンラインでの参加

ウェビナーツールを使用して、リアルタイムでご観覧いただけます。各テーマの講演終了後には質疑応答の時間を設けますので、会場への参加が難しい方はぜひこちらからご参加下さい。

②会場の参加

2024年4月、豊洲スペースを会場とし、大型スタジオルームを新設いたしました。スタジオルーム内には代表者向の専用コンタクトを展示いたします。会場には経費帳も提供しておりますので、お申込みのことがございましたらお気軽にご観覧いただけます。

【後日、録画した動画を観覧】

講演後、録画動画を視聴いたします。ご観覧にあたっては2点が必要となります。当日ご参加できない方も、下記ボタンより、動画視聴をお受けいただけます。一層観

→申込フォームへ

2021 年 4 月からのセミナー お申し込み方法のご案内

参加申込／動画視聴ID発行

下記画面には事業費としての上記「支払内容」を記載する。支払リシテとしてください。
税金が同一場合は「なし」と記入下さい。

お登録情報入力

貴社名(全角)*

※半角英数字で入力してください

所属部署名(全角)*

例：総務部

役職名(全角)*

例：部長

氏名(全角)*

姓：田中 氏名：太郎

ふりがな(全角)* 姓：タナカ 氏名：タロウ

電話番号* 姓： 姓： 姓：

メールアドレス*

※@gmail.com
確認のため、もう一度入力して下さい。

動画視聴 ID を発行

設定したいIDを入力ください。（半角英数字8文字以上）

後日、講演動画をfrontCへ掲載いたします。動画の視聴を希望される方はご希望のIDを入力してください。
※一度発行いただければfrontC内すべての動画をご視聴いただけます。
※すでにIDをお持ちの方は入力しないでください。
※登録済みIDはご登録いただけません。別のIDを再入力ください。

メルニュース配信

□メルニュースの新規登録を希望する

講演動画の掲載通知やセミナー情報のご案内、frontCの更新情報を配信いたします。

（備考欄）今後セミナーで観覧予定があるセミナー、申し込みに対するご返信をお願いします。

当日参加されない方はい上記情報まで入力されましたら、ページ下部の「個人情報の取り扱いについて。」へお進みください。

当日参加をご希望の方は以下より、セミナータイトル横にあります参加方法をお選び

日付	会場	会場	セミナータイトル	時間
4/19(水)	☐	☐	vol.1 企業統治	18:00-18:40
	☐	☐	vol.2 資産構成と資本構成	18:40-18:20
	☐	☐	vol.3 資産構成の最適化	18:20-17:00
	☐	☐	vol.4 資本構成の最適化	17:00-17:40
4/27(火)	☐	☐	vol.5 企業再編	18:00-18:40
	☐	☐	vol.6 事業活動と事業キャッシュフロー	18:40-18:20
5/11(木)	☐	☐	vol.7 事業経営と企業経営	18:20-17:00
	☐	☐	vol.8 オブジェクトファイナンス	18:00-18:40
	☐	☐	vol.9 シェアリング経済と بورس	18:40-18:20
	☐	☐	vol.10 産業基盤への金融	18:20-17:00

関係者人数

人数

個人情報の取り扱いについて

個人情報保護方針

本記事においてオピニオン形成機関（以下「協賛」）とは、事業活動を通じて信頼、信用関係を、従業員など、会社「スポンサー・パートナー」などの関係から構築し、そのネットワークによって提供された知能であることにより、協賛を行う事業者も価値創造の源泉となる信頼資産であると認識して、適正な管理と活用を必要とすることを指します。

個人データの収集・加工・利用に関する事項

会社名など、*の必須項目

→当日参加の方も、後日動画視聴の方も、どちらも入力ください。

動画視聴 ID 発行

→後日、動画視聴を希望する場合は入力ください。(英数字 8 桁以上)

※すでに発行済みの方は空欄にしてください。

当日参加を希望する方のみ、参加申込枠から、
ウェビナーか会場が選択ください。

※後日、動画視聴を希望する方はこちらのチェックは不要です。個人情報の取り扱いについてへお進みください。

同伴者人数

→複数申込がいる場合に入力

※申し込み完了後、入力確認の自動返信メールが届きます。ZOOM 入室用の URL 等の情報が記載してあるのでご確認ください。

4/13(火)

18:00~19:00

資産運用の歴史と実践

セミナー内容

【 内 容 】

日本の資産運用は、単に資産運用の権利譲渡とともに歴史を歩ってきました。まず、信託銀行と生命保険会社による強占が続いた草創期。1990年4月の第一次自由化から、金融危機をきっかけとして、また、制度の危機も所因しつつ、一気に規制緩和に進み、2000年以降は、関心のあり方が確立するまで、理論的（教科書的）な運用の枠組みが定着する一方で、2008年の世界的金融危機を機に、定着しはじめたものの理論的知識すら揺らぎ始めた時期を脱却し通ります。

そして今、金融庁主導の企業金融と生活金融の一体改革が行われています。

資本市場関係者のためには、資産運用を行う企業は、市場に対して厳格な責任を負わなくてはなりません。そこで、企業の実態を踏まえるものとして導入されたのが、コーポレートガバナンス・コードです。

フィデューシャリー・デューティーで律せられた投資家は、国益の利益のため、資本市場において、コーポレートガバナンス・コードで定められた企業と対峙し、公正な競争環境を確保し、市場を活性化して、安定した産業金融の基盤構築に努めます。

責任ある立場は、対立ではありません。そこには、対峙しつつ、経済成長を遂げた国益の増進の増大という共通目的の存在のために、協働するという側面もあります。この協働な関係を築くものがスチュワードシップ・コードです。

この改革で最終的に目指されるのは、経済成長と国益の安定的な両立増進に対する貢献、徹底した顧客の利益の視点、金融機関の自主自律的な経営革新なのであって、これは自